

# 愛媛FC・愛媛マンドリンパイレーツ健全経営委員会

## 結果概要

日時：令和6年10月2日（水）13：00～

場所：いよてつ会館5階 会議室

出席者：田中 雅人 委員長

清水 美穂 委員

相原 宏淳 委員

黒田 敬 委員

田室 和紀 取締役（愛媛県民球団株）

### ■愛媛マンドリンパイレーツの健全経営について

発言者	内容等
愛媛県民球団株	[協議]「愛媛マンドリンパイレーツ株の健全経営について」 ○資料説明 ・2023シーズンの事業実施状況等について
委員	○質疑応答・意見交換 <b>ドラフト会議について</b> ドラフト会議が近づいているが、手応えはどうか。
愛媛県民球団株	現在5名の選手に対して調査書の依頼が来ているが、1番多い選手で4球団から来ている。2年連続で本県出身の選手が指名されており、3年連続の指名を期待している。連続で県出身選手が指名されたことで、県内の有望な選手（高校生）から多く問合せをもらっているため、県出身選手の育成を強化していきたい。
委員	<b>チーム経営について</b> 令和5年は令和4年に比べるとチケット収入は増加しているが、スポンサー収入は減少している。令和3年から令和4年で伸びた反動かもしれないが、要因はあるか。
愛媛県民球団株	令和4年に関しては、中日ドラゴンズの元監督・落合さんなどをゲストに呼びインターネット中継したほか、SNSのフォロワー増加のため、インフルエンサーなどお金をかけて広報したため、その協賛収入も多かった

委員	<p>が、その分支出も多かった。令和5年は大きなお金をかけた取組みをあまりしなかったため、経費削減となった。令和4年の広告宣伝費が多いのも、それが要因の1つ。</p> <p>収入において占める割合の大きい「その他」の内訳は何か。</p>
愛媛県民球団(株)	<p>全国独立リーグ（IPBL）において、ドラフト指名が入り、プロ野球選手を輩出した場合は、契約金及び初年度の年俸の一部を育成費として、在籍球団におさめる決まりになっている。令和5年は3人の選手を輩出したほか、スポンサーやチケット、物販収入以外の部分や寄付があった。</p>
委員	<p>営業外収益が令和4年と比べて大きく下がっているが、この営業外収益とは何か。</p>
愛媛県民球団(株)	<p>選手の怪我に対する保険などに係る費用が大きく占めている。</p>
委員	<p><b>球団への応援について</b></p> <p>SNS スポンサーは企業だけでなく、個人もスポンサーとして応援することができるのか。</p>
愛媛県民球団(株)	<p>実績はないが、個人の方もスポンサーとして応援いただくことはできる。</p>
委員	<p><b>地域貢献活動について</b></p> <p>地域の魅力発信に対する思いなどがあれば、教えてほしい。</p>
愛媛県民球団(株)	<p>動員数を増やすには、県民の皆さんとの接点を増やし、「おらがまちのチーム」と思ってもらえるような取組みが必要だと思う。</p> <p>コロナ前まで地域のお祭りに積極的に参加しており、今年の夏は宇和島の「うわじまガイヤカーニバル」に愛媛県南予地方局連として参加した。宇和島で開催された試合には、一緒にチームとして踊った南予地方局の職員の皆さんにも見に来てもらい、このような活動も動員数増加には必要だと改めて感じた。</p> <p>また、試合開催のない伊方町と連携して、町内すべての小学校を訪問する事業を始めたが、このような活動を通じて、近隣で試合があった際に「見に行ってみよう」と感じてもらえると思うので、継続的に取り組んでいきたい。</p>

委員	<p><b>まとめ</b></p> <p>部活動の地域移行が進められており、スポーツを核としたまちづくりはこれから加速化されていくと思う。指導者派遣など声掛けがあれば、前向きに検討してほしい。</p> <p>また、愛媛マンダリンパイレーツという名前を知ってもらうことももちろんであるが、スポーツをする子どもの全体数が減ってきているので、関係機関と連携しながら、野球、そしてスポーツの魅力を伝えてもらい、1人でも多くの子どもにスポーツに取り組んでもらいたい。</p> <p>今年もドラフト指名選手の輩出には期待できると思うので、そういう面でも子どもたちに夢を与える存在になってほしいと思う。</p>
----	--